２００４(平成１６)年3月２５日発行　　第１２号

箱崎まちづくり新聞

発行者　箱崎まちづくり協議会
事　務　局
電　話　６５１−７７０８
（公民館）

★ 天瀬町（大分県）・玉名市（熊本県）視察研修

まちづくり協議会役員１３人は、２月２１日～２２日に天瀬町、玉名市の視察研修会を行いました。
まず、天瀬町とは、平成１４年度より始まり、ぶどうの袋掛け・収穫体験、子どもたちの自然体験、サッカーの交流試合などで交流を深めております。また、校区夏祭りには、天瀬町の名産などの出品をして頂いております。今回は、天瀬町の渡辺町長より、箱崎校区とより一層の交流を深めたいとの申し入れがあり、役場職員や地元団体の方々約４０名と交流会を行いました。自己紹介から始まり、箱崎のＰＲ、最後には地元の方も一緒に「箱崎音頭」を踊りました。地元の方からは「今度は箱崎に行きますよ！」と言っていただきました。今後も、子どもたちの相互交流を中心にますます深めて行くことを確認いたしました。
１６年度、箱崎の子ども会では、天瀬の子どもたちとの交流を箱崎でする予定で話を進めています。その時は、校区の皆様のご協力もよろしくお願いいたします。

次の日には、玉名市が全国的に誇れる地域づくりを進めている「一区一輝運動」のまちづくりを視察しました。
今回、訪問した玉名町校区は、玉名市の中心に位置し歴史的・文化的な町であり、箱崎校区に似た地区であります。玉名町校区まちづくり委員会では、【美しく住みよいまち、歩きたくなるまち】をテーマに［人が主役のまちづくり事業］［歴史がかおるまちづくり事業］［ほんなこつ美しかまちづくり事業］の３つの活動方針を定め活動をしています。
交流のなかで、まちの活性化の源は「人」であり「人が主役」であることをあらためてお互いに認識いたしました。

※「一区一輝運動」とはそれぞれの小学校区をひとつの単位として、校区住民が自ら考え、自らの力で全国に誇れるような地域づくりを進める運動です。このような運動が今全国的に広がっています。

でんでんハウス（玉名町）

―言葉を㊧え、心を㊧えます―

事務局兼ふれあいサロンです。ここは打ち合わせや散歩の途中の休憩、井戸端会議等自由に使えます。また、気軽に使える伝言板の設置、皆さんが創った作品の発表の場のギャラリーなどの活用もされてます。

★イルミネーションコンテスト

２月８日（日）に、昨年度末に行なった第１回箱崎イルミネーションコンテストの表彰式を行ないました。
イルミネーションコンテストには、多くの方から参加をいただきました。その中から最優秀賞１名、優秀賞３名を決定いたしました。

受賞者は次の方々です　　最優秀賞　竹尾　恵様。
優秀賞　いろは寿司様。戸部田　巌様。花岡歯科医院様。

最優秀賞の竹尾　恵様　***おめでとうございます！***

今年度はじめての試みでしたが、対象地域（今回は大学通りを対象としました）以外からの参加者もあり、次回からは対象地域を広げて参加者を募集したいと考えています。
受賞者からも「もっと多くの参加を呼びかけて、大学通りがたくさんのイルミネーションコンで飾られるようにしてほしい」等のご意見もいただきました。今回は道路問題・商店街の活性化のひとつの取り掛かりとして、急遽実施することを決定した関係で、多くの不手際がありましたが、来年度は事業計画の中に盛り込み、より多くの方に参加していただけるように努力したいと思いますので、ご協力をお願いします。

《箱崎四方山話》

『乙子様』

箱崎に住む年配の者にとっては、「乙子様」の名は、日常の会話の中にも、子どものころの懐かしい想い出の一つとしてよく話題に出る。

「乙子様」とは、筥崎宮境内東末社の中央に祀られている子どもの神様乙子宮のことである。五月二十七日の海戦記念日や、九月十五日の放生会大祭の夕刻、「乙子様」の前庭や廻廊に思い思いにゴザなど敷き、弁当を神前に供え、お参りのあと、家族打ち揃って食事を頂戴する。周囲には近所や箱崎内輪の知り合いでいっぱいである。薄暗いが灯明のローソクの灯りが幻想的である。

春などにはお籠りもある。飽食、美食の今日からみれば、とくにご馳走というほどでもないが、しかし季節のものがいっぱい重箱に詰められていた。これがまた食べざかりの子どもには、とに角美味かった。ピースご飯、タケノコ、フキ、ツワ、ササゲ、レンコン、サトイモ、等々、これに玉子焼、糸ゴンニャク、カマボコといった類が重箱を飾った。

乙子様をいつまでも懐かしく思うのはみんなで食べる旬の弁当が楽しかったためでもあろうが、或いはそのあと親たちに手を引かれて浜の露店めぐりが楽しかったためでもあろうか。

乙子宮について筥崎宮田村権宮司に伺ったところでは、乙子宮は筥崎宮ご祭神応神天皇のお子仁徳天皇の弟君で菟道稚郎子皇子（ウジノワキノイラツコノミコ）というお方をお祀りされている。応神帝もよく可愛がられたそうであるが、生来徳を備えられた聡明な方であったという。百済からの学者王仁から直接教育も受けられた由であるがとくに重要なことは兄仁徳天皇を心広ろく優しいお心をもって、一歩下がって常に立てられたことであるという。

子どもの神様といわれる所以は菟道稚郎子皇子のように、心優しく思いやりのある身体強健な子どもに育って欲しいとの願いからであろう。

古田　鷹治

★まち企画部会報告

２月２８日（土）に福岡市より、九州大学の移転対策についての説明会を実施していただきました。

当日は移転対策部の担当者より、現在までの取り組みと、今後の計画について説明いただきましたが、概ね私たちが考えているものとの方向性が一致しており、地域の協力要請もいただきました。

官主導ではなく、今後地域の方々と話し合いを行い、地域の声を反映した跡地利用を考えていくため、ご協力をお願い致します。

★くらし交流部会報告

※第２回ガーデニング教室（秋の花寄せ植え講座）

昨年も実施しましたガーデニング教室を今年も１１月２９日（土）に開催しました。

今年も大津生花店より園芸専門家の先生を招き２３名の参加で行ないました。又、花いっぱい運動の一環として公民館と箱崎会館の周辺にお花を飾りました。近くを通られたときは見てくださいネ。

※１２月２０日（土）に正月用しめ飾りつくり講座を行ないました。

初めての催しでしたが、３０名の参加者があり会場いっぱいの盛況でした箱崎と交流をしています天瀬町より４名の講師の皆さんに来ていただきました。初めての試みでしたが皆さん楽しそうに手際よく「しめ飾り」を作っていました。今年の正月は手作りの「しめ飾り」と一緒に新しい年を迎えられたことでしょう。

手作りのしめ飾りが出来ました